

研究部だより

第1号 H30.7.19
岩手県立盛岡みたけ支援学校
研究部

平成30年度から、新たな研究主題の下で盛岡みたけ支援学校の校内研究がスタートしました。「研究部だより」では、本校の校内研究や授業実践について発信していきます。第1号は研究主題の紹介と、各学部の研究会の様子をお知らせします。

平成30年度研究主題

児童生徒が力を発揮し、自ら進んで学びに向かう授業づくり(一年次)
～「キャリア教育全体計画の活用」と「授業改善の取り組み」を通して～

研究主題に挙げた姿を、全ての児童生徒が実現する授業づくりを研究していきます。また、キャリア教育全体計画を活用することで、小・中・高等部へと確実なステップアップをはかれる系統的な指導も目指していきます。



＜系統的な指導を目指したキャリア教育全体計画の活用＞

※詳しくは、本校ホームページ「校内研究」をご覧ください



＜授業改善の取り組み＞

小学部研究会

小学部では、教師が学年を越えた縦割りグループに分かれて授業改善に取り組みます。今年度は音楽、体育、日常生活の指導、自立活動の4つの授業について、児童に必要な指導内容を検討し、効果的な指導方法と支援を探ります。授業の様子を撮影してチーム内で検討しながら、教師の動き、発問、授業の内容、支援方法等、多角的な視点で授業の改善を図っていきます。



小学部の体育・音楽・自立活動の様子 ※写真は一部加工してあります

中学部研究会

中学部は小学部と高等部を繋ぐ重要な3年間を担います。授業改善に取り組む授業として「作業学習」を取り上げました。小学部で培った力をさらに伸ばし、働く力の基礎とするために中学部段階での作業学習のあり方、育むべき力や態度を徹底的に協議し、PDCA サイクルで授業改善に取り組みます。6月20日の研究会では、本校のキャリア教育全体計画にある、中学部作業学習の目標について話し合い、意見交換を行いました。今後は、研究授業や職員のワークショップによる意見交換を通じた授業改善に取り組んでいきます。



中学部の作業学習の様子 ※写真は一部加工してあります

高等部研究会

高等部では、教育課程の中心である「作業学習」の授業改善に取り組みます。目指す生徒像は、「自ら進んで作業に取り組み、自分の力を存分に発揮し、喜びをもって働く生徒」です。6月14日の研究会では、7つの作業班に分かれてワークショップを行いました。各自が感じている「作業班の課題」を作業班ごとに情報交換し、話し合いを通して「改善案」を導き出しました。7月には教職員同士で授業を相互に参観する期間を設けて、より多角的に意見を交換しながら授業を改善していきます。



高等部研究会の様子

あとがき

平成30年度の校内研究が始まりました。5月10日の全校研究会では「授業改善」「指導の系統性」がキーワードであると話をしました。全ての児童生徒が、「力を発揮し、自ら進んで学びに向かう」姿を実現できるような校内研究に取り組んでいきたいと考えています。次号では、実際の授業の様子や工夫について紹介します。 研究主任 菊地隆介